

子ニ限レリ若シ外國人ニテモ合衆國ノ其民ニ歸化セシコトヲ誓ヒタルモノニハ同シク出願スルヲ許ス出願ノ手續ハ自身ニ出願シテ其拂下ヲ欲スル官有地ヲ指示シ五ヶ年間同地ニ住居セシコトヲ誓ヒ手數料トシテ十六弗乃至二十二弗ヲ納ムレハ一人前百六十噶ノ貸下ヲ得ルナリ然ルトキハ六ヶ月内ニ其地ニ移住シ二年又ハ五年ノ後二人ノ證人ヲ立テ耕作ノ現況ヲ具陳スレハ其證述ノ如何ニヨリ前ニ貸下ケタル百六十噶ノ土地ヲ全ク本人ニ下渡スナリ此時所有權ノ證トシテ地券ヲ下付ス又移住後六ヶ月ニシテ更ニ五年ヲ待タズ土地ノ所有權ヲ得シト欲セハ其耕作ノ現況ヲ申述シ一噶ニ付一弗二十五仙ヨリ二弗五十仙ヲ代價ヲ以テ拂下クルコトアル可シ

第六項 地價及土地ノ賣買

社會ノ規律已ニ整頓シタル古國ニ在テハ地價ノ變動甚シカラスト雖モ北米大陸ノ如キ新開國ニシテ社會組織ノ發達日ニ盛ナル土地ニ於テハ絶エス地價ノ騰貴スルノミニシテ下落スルコトナケレハ各國ノ投機者ハ踵ヲ接シテ群集シ先ヲ争ツテ土地ノ買占ヲ爲シ所謂見込買ヲナシテ巨利ヲ壟斷セント欲スルモノ多シ果シテ其見込所ニ違ハスシテ其土地ニ新市街ヲ開キ鐵道ノ線路ニ當ルトキハ地價俄ニ騰貴シテ僅ニ二弗五十仙ニテ買得タル地所モ二三百弗ノ價ヲ生スルコト常ナリ而シテ急々市街トナリ市制ヲ布クニ至ラハ一噶ノ地而モ一萬二方ヨリ十萬弗位ニ達スルコトナシトセズ是ヲ以テ現今投機買ヲ爲スモノ益々多キヲ加ヘタリ

加拿陀ハ到ル所未開ノ土地多ク殊ニ中央以西ノ地ハ未全ク何人ノ所有ニモ歸セサルモノ概テ然リ但有名ナル市街ノ近邊ハ大抵已ニ所有

主アレドモ之ヲ買求ムルニト容易ナリ、目下英領新倫比亞州ニテ農業地ハ已ニ開拓シタルモノ一噓ニ付キ十弗乃至百五十弗ノ低價ナレトモ晚波香ノ市中ニテハ間口二十五呎與行百二十呎ノ一小地區ニ付居宅地ハ二百弗乃至三千弗、商賣地即チ店鋪ヲ設クヘキ場所ハ二千五百弗乃至二万五千弗ナリ、然レトモ之ヲ東部諸市街ノ地價ニ比スレハ尙ホ低廉ナルヲ知ル左ニ有名ナル各市街ノ地價ヲ表示スヘシ(但表中ノ價格ハ間口一呎與行百二十呎ノ定メトス)

| 市 府 名 | 上等小賣店筋 | | 御賣中等小賣店筋 | | 上等居宅地 | | 並居宅地 |
|-------|--------|-------|----------|-------|-------|-----|------|
| | 四ツ角内列 | 四ツ角内列 | 四ツ角内列 | 四ツ角内列 | 四ツ角内列 | | |
| シカゴ | 六〇〇〇 | 四〇〇〇 | 二〇〇〇 | 二〇〇〇 | 七五〇 | 六〇〇 | 五〇 |
| シシマ | 八〇〇〇 | 三〇〇〇 | 一八〇〇 | 一〇〇〇 | 七〇〇 | 五〇〇 | 五〇 |
| クレシヤ | 三〇〇〇 | 二八〇〇 | 一六〇〇 | 一〇〇〇 | 四〇〇 | 三〇〇 | 三〇 |

| 市 府 名 | 上等小賣店筋 | | 御賣中等小賣店筋 | | 上等居宅地 | | 並居宅地 |
|----------|--------|-------|----------|-------|-------|-----|------|
| | 四ツ角内列 | 四ツ角内列 | 四ツ角内列 | 四ツ角内列 | 四ツ角内列 | | |
| セントルイス | 三〇〇〇 | 二〇〇〇 | 一六〇〇 | 一〇〇〇 | 四〇〇 | 三〇〇 | 二〇 |
| ロス、アングルス | 二〇〇〇 | 一六〇〇 | 一〇〇〇 | 八〇〇 | 一八〇 | 一〇〇 | 一〇 |
| カンザス | 三〇〇〇 | 二〇〇〇 | 一〇〇〇 | 八〇〇 | 一六〇 | 一〇〇 | 一〇 |
| オマハ | 二〇〇〇 | 一六〇〇 | 一〇〇〇 | 五〇〇 | 三〇〇 | 二〇〇 | 一〇 |
| セントポール | 一〇〇〇 | 一〇〇〇 | 六〇〇 | 六〇〇 | 三〇〇 | 二〇〇 | 一〇 |
| ミニニシガリス | 一六〇〇 | 一三〇〇 | 六〇〇 | 六〇〇 | 三〇〇 | 二〇〇 | 一〇 |
| アンザア | 一〇〇〇 | 六〇〇 | 四〇〇 | 三〇〇 | 二〇〇 | 一〇〇 | 一〇 |
| ダニエル | 一〇〇〇 | 六〇〇 | 四〇〇 | 三〇〇 | 二〇〇 | 一〇〇 | 一〇 |
| ウイニベック | 七〇〇 | 五〇〇 | 三〇〇 | 二〇〇 | 一五〇 | 一〇〇 | 一〇 |
| ボイトランド | 一〇〇〇 | 八〇〇 | 五〇〇 | 四〇〇 | 二〇〇 | 一五〇 | 一〇 |
| シヤトル | 一〇〇〇 | 一〇〇〇 | 五〇〇 | 三〇〇 | 二〇〇 | 一〇〇 | 一〇 |
| ヴァンクレー | 五〇〇 | 三〇〇 | 二〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇 |

右表ニ見ユル如ク晚香波ノ地價ハ頗ル高クレトモ七八年以前マテハ一噎二弗五十仙ニ過キスシテ其スラ賣人アリテ買人アラザリシトソ其頃ノ事ナリケン本邦人ニシテ料理人或ハ使丁ニ雇ハレ此地ニ住セシ者三四人アリテ孰レモ月ニ三十弗乃至六十弗ノ給料ヲ得多少ノ所持金モアリシカハ或英人少シク金ヲ要スルコトアリテ其所有地五噎而モ市中ノ中央ニテ所有セシモノヲ六十弗ニテ此日本人ニ賣與センコトヲ望ミタレトモ誰トテ之ニ應スルモノナク皆將來價格ノ變動ヲ恐レテ謝絶シタリカ今日其地所ヲ時價ニ算スレハ五十万弗ニ下ラズト云フ若シ右ノ本邦人ニ先見ノ明アリシナラハ六十弗ヲ投シテ五十万弗ノ不動産ヲ得タリシナランニ思ヒ此ニ至ラザラシハ豈亦遺憾ナラスヤ慨スルニ下等人ハ目前ノ小利ニ迷ヒ飽食煖衣逸居ニ戀々トシ中等人ハ徒ニ外觀ノ華美ノミヲ好ミテ前途ノ大望ヲク離上等人ニ

至リテハ土地家屋ニ贅澤ヲ極メテ衣食ハ之ヲ第一旨置クナリ抑土地家屋ハ世ノ進歩ト共ニ價格ヲ増ス傾キアルモノナレトモ土地家屋ヲ少觀念ハ下等野蠻人ノ胸ニ浮カサルモノニテ名望ヲ好ミ或ハ遠慮アルモノ、獨リ専有ニ歸スルモノナリ將來日本人ノ海外ニ移住スルモノ必ス茲ニ着目スルニ至ラサルヘカラス依テ亦ニ土地賣買ノ手續ヲ示サントス北米ノ各市府ニハリイタルエスラトト稱シテ土地家屋ノ賣買周旋所アリ一種ノ營業ニシテ盛ニ行ハレ一市府ニハ少ナクモ二十軒以上二三百軒ニ超ユル同業者アリ孰レモ其地ニテ信用アリ資カアルモノ互ニ會社ヲ結ビ薄キ手数料ニテ不案内ナル人々ニ廣ク不動産ノ賣買ヲ周旋スルナリサレハ公衆ニ與フル便益ハ少ナカラス又彼地各市府ノ習慣トシテ不動産ヲ賣買スルニハ必ス周旋所ノ手ヲ經ザルベカラズ若シ不案内ナル人ニシテ土地家屋ヲ買入レント欲スル

下キハ周旋所ニ至リ地圖ヲ一覽シテ望ミニ適スルモノアレハ代價表ヲ檢シ果シテ相當ト認メタル上ハ周旋所ノ案内ニ依リ圖面ヲ以テ實地ト對照シ然ル後賣買ノ約定成レハ双方登記所ニ至リ登記ヲ出願スサレハ登記所ハ地券ヲ下附スルナリ是レ土地賣買手續ノ大略ナリ周旋所ノ手数料ハ賣買金高ノ二分乃至五分ニシテ賣入之ヲ拂ヒ買入ハ出スニ及ハス又登記所ノ手續及手数料ハ總テ周旋所ノ擔當ニテ買入ハ眞ノ客人タルナリ而シテ土地ヲ賣買スルニハ必スシモ其地ニ往クヲ要セス信スヘキ代理人ニ委テ信スヘキ周旋所ニ由リ金子ハ郵便若クハ銀行等ヲ爲換ニテ受授スレハ之レヲ辨スルモトヲ得ベシ現ニ歐洲ノ資本家ハ皆代理人ニ委託シテ米國ノ土地ヲ多ク買收セリ日本ハ幸ニ白人種ト同シク米國ニ於テ土地所有權ヲ有スレハ投機心アルモノハ舊テ彼地ニ渡航シ所謂見込買ヲ爲スハ豈日本男子ノ快事ニ

非スヤ且夫以彈丸黑子ノ如キ土地ニ離歐カラシヨリハ寧ロ商機ト世ノ變遷トヲ察シ斷然彼地ニ於テ一輪ヲ擧グルニ若カサルナリ聞ク曾テ米商阿部彦ハ本邦以米ヲ出シ手ニ買占メタリト斯ク如キ壯快男子ノアルアヲ以テ米國太平洋沿岸ニ若干ノ土地ヲ領有シ我邦ノ氣勢ヲ張ルモノナキハ洵ニ慨歎ニ堪ヘサルナリ

第七項 歸化法

英國人ハ固ヨリ英國ノ版圖タル加拿陀ニ歸化スルノ必要カクレドモ他ノ外國人ニシテ加拿陀ニ在留シ法律ノ許ス所ノ權利ヲ得テ自由ニ運動セシムル欲スレバ歸化セザルヲ得ズ但歸化セザルモ土地家屋ヲ所有シ農商工業ニ從事スルヲ妨クス然レトモ歸化スルニ利益アル場合少キカラズサレ以テ歸化法ハ手續ヲ示サ

加拿陀ニ三ヶ年以上引續キ住居シタル外國人ハ出廳シ當國ノ法律ヲ奉戴シ以後忠節ナル英國臣民タラズモトヲ誓言スレハ僱ニ一通ノ願書ヲ以テ英國ノ臣民トナリ法律上ノ權利ヲ受ク義務ヲ負フモノトス斯ク簡單ナル方法ニテ外國人ノ歸化ヲ許ス所以ノ由ガ諸外國ヨリ移住者ヲ多ク誘導シテ欲スルニアラ今日ノ現狀ニテハ已ムヲ得サル策零ト謂フ可シ

合衆國ノ歸化法モ亦簡易ナントモ之ヲ加拿陀ニ比スレハ稍々丁寧ナルカ如ク蓋シ同國ニテハ移住後二ヶ年ヲ經タルモノニテ歸化ノ意ヲ述ヘ合衆國ノ真民タラズニテ誓ヒテ第一號證ヲ得裏ニ引續キ住居スルヨリ三ヶ年ニテ再々歸化ノ意ヲ述ヘ合衆國ノ真民タラズヨリ誓ヒテ第二號證ヲ得是ニ於テ始メテ合衆國ノ真民タラズヲ得ルナリ故ニ之ヲ加拿陀ニ其スルニ於テ三年ニテ此ノ五年ノ差アルナリ

附錄

加拿陀西部地方ニ移民セントスルニ付キ

杉村領事ノ意見書

余カ所謂加拿陀西部地方トハ英領コロンビヤ州及北西各州ヲ指シテ其面積凡ソ我日本ノ二倍半ヲ有セリ北西各州トリハ西ハパツキ山脈ヲ境トシ東ハマニトバ州ニ接シ其面積ハ遙ニコロンビヤ州ノ上ニ居レリコロンビヤ州ハ大概山岳キレテ耕作及牧畜ス可キ土地ニ乏シク雖モ鑛産水産及森林産ニ富ミ毎年六百萬弗内外ノ輸出アリ北西各州トリハ一轉シ平原曠野ニシテ耕作及牧畜ニ適當ナリ但同地方ニ二箇所ノ農田ヲ開クニ氣候ハコロンビヤ州ノ冬季

温布ナレバ日本人ノ居住ニ差支ナシ現ニアラスカ近境ニ居留スル日本人十餘名アル程ナレバ其他ハ推テ知ル可シ北西各テリトリアハ冬季返寒烈シク零度以下三十度若クハ其以上ニ下ルコトアリト云ハハ日本人ニハ不適當ナルベシ同地方ニハ一ノ居留日本人アルヲ聞カズ

人口ハ本年丁度調査ノ期ニ當ルモ未之ヲ終ラサルヲ以テ其數ヲ知ルニ由ナシト雖モ概算ニテハコロンビヤ州ニ十五萬人北西各テリトリアニ三萬人程アル可シ故ニ兩地方トモ人口ノ不足ヲ感シ切ニ移民ヲ希望セリ乍去其望ヨ所ハ白人ノ移住ニシテ東洋人種殊ニ支那人ノ移住ヲ好マサルモノハ知シ

支那人 前記兩地方ニ在留セル支那人ノ數ハ不詳ト雖モコロンビヤ州ニハ三千人乃至五千人モ居ル可ク北西各テリトリアニハ實ニ

僅少ナク支那人ノ加拿陀ニ上陸スル者ハ每人五十弗ノ税ヲ課セラレ且ツコロンビヤ州ニ法律ニテハ彼等ハ年々若干十四歳已上毎年千弗ノ特別頭税ヲ拂ヒ加之土地ノ所有市ノ中央ニ開店スルヲ禁止スラシ(所謂支那人町ヲ設ケル別ニテ各公共事業ニハ大抵支那人ヲ使用スルヲ得スト)ノ箇條ヲ設ケラル等彼等ヲ爲メニハ不利不便多シト雖モ彼等ハ能ク之ニ打ち勝チテ生業ヲ立テ中ニハ廣大ナル店舗ヲ有シ盛ニ商賣スルモノ幾十軒ト云フ程アル可シ彼等ハ白人ノ堪フル能ハサル苦役ヲ執リ汚穢ノ事業ニ忍ビ且ツ日常ノ生活ニハ他ノ人種ヲ無クシテ能ハサル程ノ節儉ナルニヨリ右ノ結果ヲ致シ其外ニ推測セズシテ人モ又其外ニ彼等ハ能ク團結シテ協會ヲ如クモ之ヲ設テ先導者ハ懇切ニ後進者ヲ世話シ尤モ其弊ハ買奴ニ類スル強者モアリト云ヘリ)後進者亦其指導ニ從テ孜々トシテ勉強スル

職由スルコトモアル可シ支那人營業ノ種類ハ第一洗濯(殆ド支那人ノ專業ト云フモ種カラシ)第二家内奉公第三商業(日本品及支那品賣捌キノ外ニ同國人ノ需用ニ供スル爲メノ店舗多シ)第四野菜耕作第五採薪第六鑛銼所(但漁業ヲ除キ)第七鋸木場第八諸鑛山ノ雇役等ナリ

日本人ハ法律上白人ト同様ニシテ全ク支那人ト異ナリ然ルニ其營業ト生活トハ遙ニ支那人ニ及ラス現今コロンビヤ州ニ居住スル日本人ハ水陸ヲ併セテ二百人モアル可シ其内三四十名ハ汽船乗組、二十餘名ハラツツ船乗組三四十名ハ鋸木場ニ勤キ一三名ハ農業三四名ハ商業數名ハ家内奉公十餘名ハ鑛業數名ハ大工及船大工等ニシテ其外夏期ニ漁業ヲ冬期ニ無業ナルモノ數十名ナリ右等ノ多數ハ水夫上リト農民ナレト多ク水夫ノ風ニ化セラレ着實ニ

日本人ノ移住ヲ望ム傾向并其理由

勤勞モノ少キシ隨テ雇ハレ口退々縮マリ閑人益々増加スル勢アリ

近來各製造所ノ妾那人ヲ使用シ居ルモノハ白人ノ勞動社會ヨリ頗ラニ攻撃ヲ受クルニ因リ日本人ヲ以テ之ニ代ハシトスル傾向アリ又土地ヲ開拓セシトスル輩モ白人ハ少ク賃銀高キヲ以テ低賃ナル日本人ヲ雇入レタシト望ム者アリ

又アラスカ近境スキムナ河口ニ在ル鋸木場及鑛銼所ノ持主ハ久シク十餘名ノ日本人ヲ使用セシカ本年態々余ヲ訪ヒ其雇日本人ノ勤勉ナルヲ稱シ尙キ多ク日本人ヲ雇入レシコトヲ望マリ(但同地ニハ群馬縣土族相川之賀ト云フ人先導者トナリ能ク他ノ日本人ヲ統括シ共ニ働カス)

右ノ如クナルニ因リ日本人ハコロンビヤ州ニ於テハ支那人ノ如ク甚シク厭忌ヲ受ケザル方ナリ故ニ昨年ノ州會ニ政府黨ノ議員檢事長ハ一時ノ考案ヨリ日本人拒斥論ヲ發シタリシモノ一州政府總理ノ外賛成者ナク忽チ廢案ニ歸シタリキ...

日本人ノ移住ヲ計ルコト

日本人ノ移住ヲ計ルニ付三個ノ困難アリ其一ハ移住ノ道ヲ規則立チテ開クコト其二ハ移住民ノ志操及品行ヲ改良スルコト是ナリ...

第一ノ困難ハ是迄如ク言辭ニ不通ニシテ風俗ニ不案内ナル徒輩ガ先導者ヲナク各自バラバラニ渡航スルニ到リテ職業ヲ求メ得ズ忽チ困難ニ陥ルハ必然ナリ依テ移住ノ道ヲ開クニ付左ノ三方案ヲ考出セ...

第一方案 移住民周旋會社設立スルコト

同社ハ出張所々彼地ニ置キ移民ノ景况及其需用ヲ觀察シテ本社ニ通知セシメ而シテ移民渡航ノ後ハ其分配方ノ周旋ヲ爲サシムルコト...

本社ニテハ出張所ノ通知ニ從テ其人物ヲ査閲シ渡航ヲ世話スルコト...

同社ノ維持費ハ移民ヨリ徵收ノ方法ヲ立ツルコト

第二方案 農業會社ヲ設ケ彼地ニ於テ土地ヲ買入レ之ヲ開墾スル先例ヲ開キ以テ後進者ヲ誘導シ且ツ之ヲ世話スルコト

以上二方案ノ手續相立シテキハ是迄ノ如ク渡航後直ニ糊口ニ窮シ是非ヲ不正業ニ轉スルノ弊害ヲ除去スルヲ得ヘキカ...

第三ノ困難ハ向後渡航セシムル日本人民ノ志操及品行ハ現今ノ

在留下等人ト同ニナル時ハ到底彼地ニ於テ永久ノ職業ヲ營ミ彼國
人ノ親愛ヲ受クルコト能ハス隨テ其結果ハ支那人ト同様ニ拒絕セ
ラルニ至ル可シ依テ向後ノ移住民ハ左ノ件々ヲ心得ルコト必要
ト思惟セラル

- 一 彼地ニ永住ノ覺悟ヲ有スルコト
- 二 彼國人ノ風俗及習慣ニ從ハシムルコトヲ勉ムルコト
- 三 基督教ニ歸依シテ教會堂ニ出入シ日曜並宗教上ノ規則ヲ守
ルコト
- 四 收入ニ連レテ相當ニ生活ノ度ヲ高メ彼等ニ賤視セラレサル
様ニ勉ムルコト
- 五 一意ニ貯金ヲシテスル目的ニテ節儉度ニ過キ支那人ノ如ク
衣粗食只下ニ於テハ彼國人ノ爲メニ擯斥セラル可シ

右ノ如クナラサル時ハ彼國人ノ親愛ヲ受クルコト能ハサル可シト
思ハル、ニ付最初ニ其人物ヲ撰ミ或ハ日本宣教師ヲ伴ハシムルニ
ト必要ト思惟セリ且又最初ヨリ不道德ナル營業ノ目的ニテ渡航ヲ
企ツル者ハ之ヲ嚴禁シ勉メテ其弊端ヲ防カサル可カラサルコトハ
確信セリ

西部加拿陀ニ於ケル移住見込ノ地方

并其事業

日本人ハ能ク北西各テリトリノ氣候ニ堪フ可シト思ハレザレバ
當分ハコロンビヤ州ニ向テ移住ヲ計ラサル可カラズ同州内ニ於テ
日本人ノ爲メ能フ可キ事業并移住ス可キ地方ハ左ノ如シ
鋸木場、シヤンク、イバ、並ビタトリア近傍ニ於テ凡三十箇所

夫併テ數百名アリ其内日本人ハ二三箇所ニ働キ居リ其數三四
 十名ナリ
 農業及牧畜 右兩市近傍ノ農業及牧畜ニモ多少ノ雇夫需要アル
 可シ
 鑛業 工夫ノ數不詳但ナ、イモ及ウエルリングトノ兩炭坑ニ
 テ千三四百名ノ坑夫アリト云ヘリ尤モ此兩坑ノ外ニハ巨鑛ナ
 シ
 日本人ハトノボ島ノ炭坑ニ雇ハレ居ルモノ十餘人アリ是ハ二
 三年前ニ三國某ノ周旋ニテ長崎ニ於テ雇入レ同縣廳ノ認可ヲ
 受テタル者ナリト聞ク
 漁業 フレザ河州内鮭源ノ六七分ヲ占メ而シテ其業ハ過半
 日本人ノ手ニ歸シ居レリ其外ニハ河ノ漁場ニモ十四名ノ

日本人アリ但鑛産所二十餘箇所雇人ハ大抵支那人ト土人ナリ
 日本人ハ場内ノ働キハ水上ノ働キニ比スレバ賃銀少ナリ
 之ヲ爲スヲ好マズ(但場内ノ働キハ自分辨當ニテ一日一弗二十
 五仙ヨリ二弗位ナリ)
 道路開鑿及森林伐拂等ノ工事 同工事ニハ常ニ人夫ノ不足ヲ感
 ズリ而シテ是迄日本人ノ之ニ雇ハレタルモノナシ
 内地ノ開拓 ゾハシクイバトヨリ二百哩乃至三百哩程東方ニ當
 リテカニナガシ及クイラキト稱スル地方アリ而シテ甲小農
 牧ニ適スル廣土ヲ有シ乙ハ鑛産ニ富メルヲ以テ近來頻リニ開
 拓ニ盡力中ナリ此等ノ地方ニハ無數ノ人夫ヲ要スルコトヲ推
 測セラル但日本人中未一人ノ之ニ赴キシモノアラス
 右ノ外自身ニ農業牧畜又ハ其他種々ノ職業ニ從事スルモノアラハ

太平洋海底電線架設ノ計畫

該地方ノ開ク行クニ從テ其需要益々盛大ニ赴クハ必然ナラン
 加拿陀人民が大平洋ニ海底電線ヲ架設シテ東洋貿易ノ擴張ヲ計ラシ
 トスルヤ久シク近來愈々其熱度ヲ進メ已ニ線路ノ方向及經費ノ豫算等
 ヲ決セリ此計畫ノ主張者ハフレドミング、グラント、スボンノ諸氏ニテ
 中ニハ親シク太平洋海底電線ヲ架設シタル人モアレバ其成功ヲ見ル
 蓋シ數年ヲ出テ新ラシトス
 計畫ノ線路ニ三箇ノ方向アリ第一ヲ北線ト稱シ晚香波ヨリアルシヤ
 ン群島ニ經テカムサツカニ至リ根室ヨリ日本ヲ貫通セテマニラニ出
 テ濠洲ニ達スルモノ是レナリ第二ヲ中線ト稱シ桑港ヨリ布哇群島ニ
 至リ是レ又一條ニ分レテ日本海ニ支那ニ及テ又他ノ一ハフツツト

島ヨリ濠州ニ達スルモノ是レナリ第三ハ南線ト稱シ晚香波島ヨリサ
 ンドウ井ツチ群島ニ出テフワミング島ニ至リフツチ島ヲ經テ濠州
 ニ入ルモノ是レナリ今三線ノ里程及經費ノ概算ヲ示シテ以テ比較ノ
 便ニ供ス

第一 北線

| | | |
|---------|-----------------|------|
| グクトト島近傍 | スーク瀬戸ヨリアルシヤン群島迄 | 一五〇〇 |
| アルシヤン群島 | ヨリアツター嶋迄 | 八〇〇 |
| アツター島 | ヨリ日本迄 | 一三〇〇 |
| 日本 | ヨリ呂宋迄 | 一一〇〇 |
| 呂宋 | ヨリニエトギニ迄 | 一一四〇 |
| ニエトギニ | ヨリダツイン港洲迄 | 二六六〇 |
| 合計 | | 六六〇〇 |

第二 中線

| | | |
|------------|-----------|------|
| 桑港ヨリ | サンドウイツチ島迄 | 六六〇〇 |
| サンドウイツチ島ヨリ | サヨソン島迄 | 二〇五〇 |
| サヨソン島ヨリ | ウエーク島迄 | 一七三〇 |
| ウエーク島ヨリ | マカオ島迄 | 一三八〇 |
| マカオ島ヨリ | 日本迄 | 一七八〇 |
| 合計 | | 一〇二〇 |

第三 南線

| | | |
|------------|----------|------|
| 晚香波島ヨリ | サンドウイツチ迄 | 二四〇〇 |
| サンドウイツチ島ヨリ | アバラ島迄 | 二〇五〇 |
| アバラ島ヨリ | フクシマ島迄 | 一六二〇 |
| フクシマ島ヨリ | 日本迄 | 六七五〇 |
| 合計 | | 五九五〇 |

今一哩ノ架設費平均九百五十弗ヲスルハ三線經費ノ比較ハ次ノ如シ

アルシヤ群島ヲ經テ日本ヨリ日本ヨリ日本ヨリ日本ヨリ

日本ヲ經テ濠洲ヨリ日本ヨリ

七、八三〇〇

右ニ據ルハ中線最モ廉ニ北線之ニ次キ南線最モ多額ノ費用ヲ要ス、然ルニ中線ハ海底險惡ニシテ損害ニ罹ルコト多ク、北線ノ陸地ヲ通經スルコト多クシテ且ツ樞要ノ地ヲ通スルニ若カザルナリ、殊ニ南線ハ珊瑚蟲ノ爲メニ害ヲ受ルルコト多ク、何人ト雖モ北線ノ利ヲ疑ハサルモノハ如シ

ハシ米國ニ發スル現時ノ電信料ハ二弗二十一仙ナレトモ此北線ノ開
 クルトキハ大約延長三分ノ二ヲ縮メ三分ノ一ナル距離ハ三千餘哩ニ
 過キスシテ日米間ノ通信ヲ通シ得ヘク隨テ電信料モ現時ノ三分ノ一
 トナルヲ得ベシ今日電信料ノ高キカ故ニ急要事件モ郵便ヲ以テシテ
 大ニ商機ヲ失スルコトアル狀況ナレハ此電線竣成ノ上ハ東洋ノ商業
 ニ一大變革ヲ及ス可キナリ

閉龍世界大博覽會ト加拿陀國ノ大視察

明治二十六年ハ是レ如何ナル年ソ米合衆國人民ハ其全力ヲ盡シテ開
 龍世界大博覽會ヲシカゴ府ニ開キ普テ地球ノ物産ヲ網羅シテ以
 テ新世界ニ貿易ノ一新時期ヲ作出サントス其組織ハ完全ニシテ廣大
 ナルハ今日莫クシテ豫メ之ヲ想察スルニ足ルカリ余ハ信ス其効果ハ

能ク新舊世界貿易ヲ從前ニ倍蓰セシメ應ニ閉龍カ新大陸ノ發
 見ト肩ヲ比スヘキノ偉功ヲ舉グベシト此好機會ニ當リ我日本國ハ如
 何ニ之ヲ利用シテ如何ニ其效果ヲ收メ可キヤハ志士ノ瞬間モ忘レス
 政府ノ致々トシテ計畫セラルト所ナレハ思フニ我カ實業家ハ盛ニ出
 品ヲ爲シテ我カ物産ヲ場内ニ輝カシ中ニハ親シク現場ヲ觀察シテ各
 國商品ノ如何ヲ比較シ今後ノ商業ニ改良ノ利益ヲ與ヘ加之幾多ノ
 往觀者ハ北米内地ヲ巡視シテ愈々日本貿易ノ盛大ヲ計ルニ至ルヘキ
 ナリ

シカゴ府ニ赴クニハ三線路アリ一ヲ桑港線路トナシ一ヲ晚香波線路
 トナス三線ノ如何ハ本書中ニ之ヲ詳記シタルヲ以テ今復贅セスト雖
 モ博覽會往觀者ハ宜シク往復其途ヲ異ニシテ以テ合衆國及加拿陀ノ
 内地ヲ視察スヘシ殊ニ余ハ往觀者ニ向テ特ニ加拿陀ノ視察ヲ忽ニセ

サランコトヲ請ハサルヲ得ス、如何トナレハ加拿陀ハ屢次述フル如ク
 新開ノ土地ニシテ今後我ト貿易上ノ關係ト云ヒ移民上ノ關係ト云ヒ
 十分ニ觀察スルノ必要アレハナリ、夫レ加拿陀ノ富源ノ大ニシテ拓地
 殖民ニ適セル又其市街ノ發達迅速ニシテ後來貿易ノ望ミアル等ハ其
 實地ヲ一見シタル事實家ニ必ス感覺ヲ與フヘキナリ
 アルシヤン群島ヲ圍メテ游泳セル無數ノ鯨鯨ハ後來我カ遠洋漁業ノ
 好富源ニアラズヤ、晚香波ノ良港ハ我カ東洋貿易ヲ掌握スル東ノ關門
 ニアラズヤ、閣龍比亞州中到ル處ニ鬱蒼タル森林ハ我カ未來造船業ノ
 用材ニアラズヤ、フレドリック河ニ群集セル鮭魚ハ我カ漁民ノ利益ニア
 ラズヤ、カクタ山ニ散在セル無數ノ鑛山ハ我カ將來製鐵所ノ原
 料ニアラズヤ、ロッキン山中ノ石炭鑛ハ我カ現時石炭ノ強敵ニアラス
 キ凡レ此等ノ關係ヲ觀察シテ將來日本商工業ノ最良方策ヲ講スルハ

始テ米國ニ渡行セントスル人ノ手引

今日ノ一大急務ナリ、實業ヲ以テ自ラ在スル士ハ宜シク道回ノ好機
 會ヲ利スヘキナリ、况ンヤ、シベリヤ氷山ノ奇觀、ロッキン山中ノ美景ハ
 旅客ノ精神ヲ慰メ加拿陀太平洋鐵道工事ノ偉業ハ實業家ノ精神ヲ鼓
 舞シ併テ世シソノ人種ノ氣象ヲ洞察スルニ足ルモノアルヲヤ、故ニ余
 ハ以テ爲ラシ此大博覽會ヲ利用シテ本邦貿易上ノ大効益ヲ收ムルハ出
 品ニアラスヤ、寧ロ北米内地特ニ加拿陀ノ大觀察ニ有リト語ヲ寄ス
 活潑有爲ノ實業家ヨ必ス相率ヒテ觀察シ以テ國益ヲ進ムル所アレ

等ヲ指示シタル其著ニ乏シキカ故ニ渡行ノ志アル者モ自ラ進ラ之ヲ果スコトヲ得ス殊ニ朝ニ茫々タリシ原野モ夕ニハ畦畔整頓セル耕作地トナリ昨ハ人烟移少ナリシ村落モ今ハ車馬絡繹タル繁華ノ街衢ト化スルモノハ是レ亞米利加ノ現狀ナリ其發達ノ快捷ナル其進步ノ迅速ナル東洋人種ヲシテ瞻若タラシムルノミ嗚呼何ソ其盛ナルヤ夫ノ深奥ノ學理ヲ究メントスルニハ或ハ適セサルベシト雖モ普通應用ノ實學ヲ修メ社會ニ立チテ運動スルノ人材タラント欲スルモノ若クハ農工業ノ實地ヲ觀察シ之カ事業ヲ本邦ニ營マント欲スルモノ、如キハ彼地ニ渡行シテ必ス益スル所多キハ疑ヒナシ況ンヤ貿易上ノ關係ニ於テハ米國ハ我物産ノ最大需要地ニシテ且ツ我輸入品ノ大供給地ナルニ於テチヤサレハ貿易ニ從事スルモノハ最モ其實況ヲ觀察スヘキノ必要アリ是ヲ以テ輒近渡行スル者目ニ月ニ多キヲ加フルニ拘ハ

ラヌ其手續方法等ヲ暗知セシムルモノ極ク少シ特ニ本書ノ卷尾ニ於テ渡行者ノ手引ヲ掲ク參考ニ資スル所以ナリ

亞米利加ニ渡行スル太平洋ノ航路ニ二線アリ一ハ桑港線トナシ他ハ一ハ晚香波線トナス桑港ハ合衆國ノ加利福尼亞州ニアリテ北米太平洋沿岸ノ中央ヲ占メ晚香波ハ英領加拿陀ニアリテ稍々北方ニ偏スレトモ桑港ト加拿陀トノ間ニハ汽船及鐵道ノ便アレハ季節并ニ船舶ノ都合ニ因リ何レノ線路ヲ取ルモ敢テ差支ナカルヘシサレハ次ニ兩線路ノ比較ヲ示シテ以テ讀者ノ選擇ニ任ス

航路里程并ニ到着日數左ノ如シ

桑港線ト晚香波線トノ比較
 自橫濱ニ出テ四日ニ至ル
 桑港 四千七百五十哩 十四日乃至十七日

晚香波 四千三百二十哩 十一日乃至十二日

晚香波ハ桑港ヨリモ航路四百三十哩短ク殊ニ此間ニ往來スル汽船ハ
 速力強ク且構造優レタルヲ以テ航海日數四日乃至五日ヲ減少スル利
 益アリトス
 船舶ニ兩線路ノ船賃ハ同格ナレトモ船ノ堅牢ニシテ且ツ美麗ナルコ
 トハ晚香波線ヲ最トシ船中取扱ノ丁寧ニシテ且ツ食事ノ美ナルコト
 ハ桑港線ヲ長トス
 季節ニ冬季ノ航海ニハ桑港線ヲ長トスレドモ夏季ノ航海ニハ晚香波
 線ヲ可トス蓋シ晚香波線ハ大ニ北方ニ偏スルガ故ニ冬季ニハ寒氣耐
 ハ難ク且ツ怒濤猛烈ナレバナリ然レトモ夏季ニ至レバ氣候清涼ニシ
 テ航海愉快ヲ感スルハ桑港線ニ勝レリ
 之ヲ要スルニ兩線各々得一失アリ強ク優秀ヲ附スルニキニオラス唯

航海及商業上ノ都合ニ因リテハ晚香波線ヲ取ル能ハザルコトアリ蓋
 シ晚香波線ノ船舶ハ其數少ナクシテ本邦ヨリ夏季ニハ毎月二回ノ
 出帆アレトモ秋季以後ハ毎月一回ニ過ヤサレハ其期日ヲ待ツ能ハサ
 ル場合多シ之ニ反シテ桑港線ハ船舶十分ニ整備シ毎月三回ノ定期出
 帆ヲ欠カサルカ故ニ渡行者ノ爲メニ頗ル便利ナリトス然レトモ本邦
 ヨリ米國ヲ經テ歐洲諸國ニ到ラント欲スル人々ハ桑港線ヨリモ晚香
 波線ニ據ルヲ長トス如何トナレハ晚香波ヨリ鐵道ニ據リテ大西洋岸
 ニ出テ最近ノ航路ヲ取ルトキハ二十三日間ニシテ英國倫敦ニ達ス
 レシ之ヲ桑港ヨリ太平洋鐵道ニ據リテ紐育ニ出テ大西洋ヲ通過スル
 モノニ比スレハ里程ノ近キコト一千餘哩隨テ時日ト費用トヲ減スル
 コト少ニアラサルナリ其他ホストン紐育チカゴトロント等米國中
 東方有名ノ諸市府ニ赴クニモ晚香波線ニ據ルニ若カス故ニ以下專ラ

晚香波線ニ就テ渡行者ノ案内ヲ記スヘシ但桑港線モ大同小異ナレハ之ヲ以テ他ヲ推測スルヲ得ヘシ

船賃及切符

本邦ヨリ晚香波行ノ船舶ニ乘リ得ル港三ヶ所アリ即チ長崎神戶及横濱是ナリ此三港ヨリノ船賃ハ左ノ如シ

| | | | | |
|-------|---|-------|--------------|-------|
| 上 | 等 | 百八十五圓 | 二百零一圓 | 二百十五圓 |
| 中 | 等 | 百二十三圓 | 此處ニテ中等切符ヲ賣ラス | 神戶ニ同シ |
| 下 | 等 | 八十五圓 | 九十五圓 | 百零三圓 |
| 支那人下等 | | 五十一圓 | 五十五圓 | 五十八圓 |

右ハ公定ノ價額ナレトモ兩線船舶ニ出帆期日相近接セルトキニ如キ互ニ競争シテ割引ヲ爲スキトアリ又時々少シク變更スルニ

切符ハ横濱海岸二百十番ノレトザル商社若クハ汽船問屋西村新七和田彦等ニテ購求スルコトヲ得ヘシ上等船客ニシテ婢僕ヲ從ヘルモシハ其者ノ爲メニ中等又ハ下等ノ船賃ヲ拂ヒ主人同シク上等室内ニ置クコトヲ許ス

二歳以下ノ稚兒ハ無船賃ニシテ五歳以上五歳以下ハ四分ノ五歳以上十二歳以下ハ半額トス又傳教師ニシテ教會其他信任スヘキ會社ノ證明書ヲ所持スルモノ及政府ノ官吏ニハ幾分ノ割引ヲ爲シ其他博覽會等公益事業ノ爲メニハ多クノ割引ヲ爲スコトアリトス

船客ノ携帶スルヲ許ス手荷物ノ量目ハ上等客ニテ英量三百五十斤中等客ニテ二百五十斤下等客ニテ百七十五斤マテテ無賃トシ此制限ヲ超過スルトキハ其超過量ニ應シ一斤ニ付三仙ノ運賃ヲ徵收セラルヘ

日本及晚香波間ノ線路ヲ往來スル汽船ハ三艘ニシテ其名ハ左ノ如シ
 第一 イムプレス 第二 タブ 第三 イソヤヤ 第四 印度女皇號
 第五 イムプレス 第六 タブ 第七 サヤパン 第八 日本女皇號
 第九 イムプレス 第十 タブ 第十一 サヤヤ 第十二 支那女皇號
 右ハ孰レモ千八百九十一年ニ新調シタル堅牢ナル大船ナリ其構造ハ
 大略同様ニシテ其速力ハ非常ニ強ク毎時十五哩乃至十八哩ヲ馳セ十
 日乃至十二日ニシテ到着ス顯ミレハ徳川幕府ノ時代ニハ兵庫ヨリ江
 戸ニ達スルニ陸路十二三日ヲ費セリ然ルニ文明ノ致ス所トハ雖モ
 今ハ四千哩ヲ隔ツル米國ニ到ルニ昔ノ江戸兵庫間僅ニ百五十里ニ足
 ラサル里程ヲ徑クヨリ速ナリトハ實ニ便利ヲ極ハムノ世ナラスヤ

米國ニ渡行セムトスル人々ハ乘船ノ前ニ當リ深ク注意シテ船中ハ勿
 論上陸後ノ調度ヲモ準備スヘシ僅々十日餘リノ航海ニ過キスト雖モ
 一船室内ノ世界ニ限ラル、コトナレハ不便最モ多シヤ風ノ日雨
 ノ夜怒濤山ヲ爲シ冥霧海ヲ鎮スニ方ハ之ハ無聊鬱悶ノ遺ルヘカラサ
 ル者アルヲモサレハ次ニ豫メ其準備スヘキ二三ノ要件ヲ陳フ可シ
 第一 携帶品 米國ハ勞動者ノ價值非常ニ貴クレハ隨テ諸物品高價
 ナリ故ニ出稼人ハ勿論暫ク滞在ノ志アル者ハ凡ソ緊要ナリト思惟
 スル諸物品ハ大抵本邦ヨリ携ヘ行キ、一二年中ノ需用ニハ差支ヘサル
 様準備ス可シ彼地ニテハ何品ニテモ本邦ヨリ二倍若クハ三倍モ高價
 ナレハ若シ輕少ノ品ナリモ亦携帶セサレハ意外ニ食ラレ極メテ不經
 濟ナルヘシ特ニ洋服ノ如キ二三組ハ必ス携フヘシ本邦ノ上等洋服店
 於テ調整シタル衣類ハ彼地ニ於テモ甚シク劣等ナルニハアラサル

カ、但時ノ流行ヲ逐ハントスル風流才子若クハ交際官ノ如キハ例外ニ屬ス

第二 氣候ノ變遷 橫濱港出帆ノ際ニハ炎熱金ヲ懨スノ候モ洋中俄然寒冷ヲ催シ襦袢ニ戀々タラサルヲ得サルナリ元來此線路ハ橫濱解纜後伊豆ノ大島ヲ右ニ見テ次第ニ北進シ北海道ノ東南部ヲ經テアルシヤン群島ヲ距ルコト四五十哩ノ處ニ達シ是ヨリ方向ヲ一轉シテ南進スルコト數日晩香波島ヲ左ニ見テオングリシユ海峽ニ沿テ晩香波港ニ到着スルニアレハ桑港ノ線路トハ方向大ニ異ナリ故ニ氣候ノ變遷モ亦急劇ニシテ且ツ多シ例テハ橫濱出帆ノ際ニハ華氏八十度ニシテ團扇ヲ放チ難キ暑サモアルシヤン群島ニ近接スレハ四十度位ニ降リ外套其他襯衣二三枚ヲ着用セザレハ室外ニ出ツル能ハス故ニ冬衣ヲ準備セザルハ非常ニ寒氣ヲ感シテ疾病ヲ醸スユト儘アリ云フ

第三 娛樂品ノ用意 航海者ニアラサルヨリハ動モスレハ憂鬱ニ沈ムヲ免レテ故ニ其嗜ム所ノ娛樂品ハ之ヲ携帯スベシ又食物ノ如キモ適宜ニ携フルヲ要ス上等並ニ中等ノ船客ゾレハ各種食物ノ準備十分ナルカ故ニ唯時候ニ適セル菓物飲料等ヲ少シク携アレハ可ナリ但此等ノ品ハ船中ニモ販賣スレトモ非常ニ高價ナシハ携帯スルニ若カス若シ又下等客ナレハ鐘詰品漬物菓物飲料等十分ニ用意ヲ爲スベシ又娛樂品ハ雜書小説等ハ勿論同行者アルモノハ碁將碁骨牌雙陸等其嗜好ニ任セテ之ヲ携フルトキハ航海中無上ノ樂ミトナルナリ其他兩眼鏡ヲモ携帯スルヲ良トス

第四 贈物 彼地ノ外國人ニ土産若クハ進物トシテ携帯スルニハ本邦風景ノ寫眞新調古金銀絹手巾遊戯品古器物等總テ物珍奇ナル美術品ヲ撰ンベシ又彼地在留ノ本邦人ニ贈ルニハ我國ノ飲食品遊戯品又

ハ新版ノ小説雜誌等ヲ宜シトス

晚香波税關

上陸前ニハ必ス税關ノ検査ヲ受クサルヲ得ス抑税關ノ目的ハ唯商品
 ノ密輸入ヲ防クニアレハ旅客ニシテ商品ヲ携帯セザレバ別ニ迷惑ヲ
 感スルコトナシ其順序タル汽船ノ入港スルヤ否ヤ税關官吏ハ直ニ船
 中ニ出張シ一々旅客ノ荷物ヲ査閲シテ商品ノ有無ヲ檢シ若シ疑ハシ
 キ品アルヲ發見セハ之ヲ押收シ又ハ税金ヲ課スルナリ元來旅客ハ商
 品ヲ携帯スヘキモノニアラス之ヲ携帯スレハ密輸入ノ意アル者トシ
 テ耻辱ヲ被ムルコトナレハ各自注意シテ商品ニ紛ラハシキモノハ一
 切携帯スヘカラズ何レノ港ニテモ特ニ支那人ノ取調ヲ嚴重トシ時ト
 シテハ日本人ヲモ綿密ニ検査スルコトアリ是レ東洋人オ白哲人種ニ
 信用ナキ證ニシテ實ニ概歎ニ堪ヘサルナリ斯ル不面目ヲ除却シ信用

ヲ挽回セント欲セハ各自正直ニ税關ノ法ヲ觸レザランコトヲ務ムル
 キナリ
 税關ニテ税金ヲ課スルハ商品ト認ムルモノニ限レリ而シテ其商品タ
 ルト旅客ノ使用品タルトヲ分ツノ標準ハ一ニ定量ト物品ノ性質トニ
 依ルナリ乃チ人々必要ノ量ノ外若クハ日常使用セサル性質ノモノハ
 之ヲ商品ト認ムルニアリ例ヘハカシメテフノ如キ五枚十枚ト散在
 スレハ之ヲ使用品トナセトモ一打二打ト束テ或ハ箱入ニナシタルモ
 ノハ商品トナスナリ又織物ノ如キ之ヲ衣服ニ裁製シタルモノハ四五
 組位ハ妨ケアラサレトモ織物ノ儘ニテハ一反ニテモ課税セラルハナ
 リサレハ衣類諸道具ニ至ルマテ必要ノ數ニアラサレハ携帯セサルヲ
 責トス
 殊ニ旅客ノ注意ヲ要スヘキハ輸入禁制品ニシテ假ニモ之ヲ携帯スハ

カラス若シ犯ストキハ其物品ヲ沒收セラレタル上ニ二百弗以上三百弗以下ノ罰金ニ處セラルヘシ其禁制品ハ左ノ如シ

一 德義ヲ亂シ風俗ヲ害シ若クハ謀反ノ形跡アル書籍雜誌新聞紙圖書印刷物寫真模造品

二 加拿陀政廳及英國政府ノ下ニ版權ヲ所有セル書籍印刷物ヲ偽版シタルモノ

三 擬製手酷其他之ニ均シキモノ ①監獄及懲治院ニ於テ製造セラレタルモノ

右シ外税關ニ關シタル詳細ハ商業ノ部ニ於テ參照ス可シ

汽船ノ將ニ埠頭ニ着セントスルヤ各自行行李ヲ整ヘテ以テ税關吏ノ來リ検査スルヲ待ツヘシ検査終レハ直ニ上陸シテ妨クナシ埠頭ニハ各

「ホテル」ヨリ出シタル車馬夥シク整列シ大聲ニ呼ビテ客引ヲ爲ス故ニ自己ノ赴カント欲スル「ホテル」ノ名ヲ呼ヘハ其店丁直ニ來テ荷物ヲ手ニシ馬車ニ乗ラシム「ホテル」ノ馬車賃ハ遠近ニ拘ハラズ一人ニ付二十五仙ナリ「ホテル」ニ至ラハ帳場ニ於テ自分ノ生國並ニ姓名ヲ記シ上中下ノ宿料ヲ問ヒ自己ノ欲スル等級ヲ告クレハ使丁ハ案内シテ寢室ニ入ラシム其時早く便所ト食堂トヲ問ヒ置クヘシ然ラサレハ室内ノ不案内ナルヨリ甚シキ迷惑ヲ被ルヘシ若又彼地ノ狀況不案内ニシテ言語モ十分ニ通セサルモノハ上陸後暫時埠頭ニ於テ日本人ノ來ルヲ待チ万事問合セテ之ニ依托スルモ可ナリ始テ彼地ニ出稼ヲナスモノハ若シ彼地ニ友人アレハ請フテ暫時ノ間同宿スルヲ良トス否ラサレハ萬事不案内ヨリ測ラサル困難ニ陥ルコトナシトセス

舉一動毎ニ外人ノ注目スル所トナルナリ、サレハ努メテ彼地ノ風俗習慣ニ從ヒ異様ノ舉動ナキ様ニスヘシ、然ラサレハ擯斥ヲ免レサルナリ、但本邦人ノ氣象精神ハ決シテ之ヲ枉クサルヘシ、其謹ヲ避クヘキハ外貌ノ異様ナルコト是ナリ例ヘハ毛髮ノ長キコト、褌衣ノ不潔ナルコト、出稼人ニシテ黒ノ長「コート」ヲ着スルコト、歩行ノ緩慢ナルコト、躰ヲ屈シテ歩行スルコト、常ニ口ヲ開ケルコト、袴及胴衣ノ鈕子ヲ脱シ居ルコト等ハ本邦人ニ往々目撃スル所ノ僻ニシテ彼國人ノ最モ嫌惡スル所ノモノナリ外形ヲ洋風ニ擬スルト共ニ洋人ニ劣ラサル活潑ナル舉動ヲ爲シ且ツ鬱相ヲ呈セス、神猛ナルカ如キ面相ナキ様注意スヘシ、
「ホテル」ハ數十アリ左ニ其著名ナルモノ又ハ出稼人ノ爲メ便利ナルモノヲ掲ケン
上等「ホテル」パンクバト 埠頭ヨリ凡ソ半哩距リタル市中ノ丘上

ニ在リ眺望至テ佳ニシテ街衢ノ下瞰スヘシ、宿料三弗乃至五弗
上等「マノウホテル」ハホテルゾアソク「バー」ノ近隣ニ在リ、一宿二弗乃至三弗

中等「リランドホテル」埠頭ヨリ三町計リ距リタル處ニアリ、稍々市中ノ中心ニ位ス、宿料一弗乃至二弗

並等「タリエントアルホテル」本町筋ニアリ日本人ノ多ク止宿スル處ニシテ取扱ニ熟練セリ、宿料一弗

晚香波ヨリ諸地方ニ出ツル汽車汽船
晚香波ヨリ各地方ニ達スル汽車汽船ノ發着ハ次ノ如シ

汽車發着時間

| | | |
|-----------------|------|--------|
| ニユーウエスト、ミンスタ、市へ | 午前十時 | 全九時 |
| 東部加拿陀へ | 午後一時 | 全二時廿五分 |

ニウトウエスト、ミンスター市へ 午後七時 全五時廿分

汽船發着時間

ピクトリア府へ 午後二時半(月曜日、土除日) 午前九時

ナバイモ市へ 午後二時半(土除日) 午前十時

合衆國各市へ 午後二時半(月曜日、土除日) 午前五時(月、水、土)

日本及支那へ 一月一回乃至二回(時間一定セス)

濠洲其他へ 一月一回 (時間不定)

晚香波ヨリ東部諸市街ニ至ル鐵道ノ賃金ハ左ノ如シ但加拿陀ニテハ

我下等客車ノ如キモノ無シ又彼ノ中等客車ハ我中等客車ノ如ク美麗

ナラズニシ

市街ノ名 所屬國名 上 中 下 等

ウイニベツク 加拿陀 五〇〇 三〇〇

| | | | |
|----------|-----|-----|-----|
| ポルトアイサー | 全 | 五〇〇 | 三〇〇 |
| トウソト | 全 | 七三九 | 五〇〇 |
| クック | 全 | 七七五 | 五三〇 |
| モントリアル | 全 | 七八七 | 五四〇 |
| クエベック | 全 | 八二五 | 五五五 |
| ハミルトン | 全 | 七三一 | 五〇〇 |
| ロンドン | 全 | 七〇八 | 四八三 |
| セントジョン | 全 | 八九〇 | 六一四 |
| ハリファクス | 全 | 九三五 | 六四〇 |
| ニューヨーク | 合衆國 | 七四五 | 五四五 |
| ポストン | 全 | 七六五 | 五四五 |
| フレザルファイヤ | 全 | 七五七 | 五四〇 |

| | | | |
|-------|---|------|------|
| チカゴ | 全 | 五七五〇 | 三七五〇 |
| ワシントン | 全 | 七五〇〇 | 五二五〇 |

注意 凡テ米國東部諸市街並ニ之ヲ經テ歐羅巴各國ニ行カントスルモノハ横濱ヨリ適切符ヲ買フヲ得ヘシ然ルトキハ幾分ノ割引アルンミナラス途中ニ於テ種々煩雜ナル手數ヲ省クコトヲ得ルノ益アリ

附記

出稼者注意ノ事

内地人口過多ノ弊ハ次第ニ其害毒ヲ逞フシテ幾多無頼ノ貧民ヲ生シ、益々國民ノ生計ヲ困難ナラシメントセリ、是ヲ以テ有志者ハ万里ノ異域ニ出テ千苦万辛ヲ嘗メテ若干ノ資産ヲ造リ社會ニ於ケル自己ノ位

置テ上サントスル必要ヲ感スルニ至レリ時勢ノ此ニ至レル以上ハ海外出稼ヲ爲スハ固ヨリ喜フヘキコトナレトモ然レトモ深ク前後ヲ考察ス漫ニ渡行スルニ於テハ必ス失敗アルヲ免レサルナリ故ニ茲ニ出稼者ノ爲メ特ニ注意スヘキ要件ヲ記シテ參考ニ供セントス

第一 出稼者ノ資格及團隊

從來本邦ヨリ桑港等ニ出稼スルモノヲ視ルニ概テ無頼ノ貧書生ニアラサレハ惰怠ノ無職業者ナリ故ニ米國人ノ如キ過劇ノ勞働ト規律正シキ事業トヲ爲スニ適セス又艱苦ニ耐フル勇氣ナシ唯僅微ノ賃銀ヲ得ルヲ以テ足レリトナシ始終貧困タルヲ免レスサレハ今後ノ出稼者トシテハ斷勉耐忍ニ富メル強壯ナル人タルヲ要ス然ラサレハ徒ニ渡行スルモ其目的ヲ達スルコト能ハサルヘシ又技術手藝ヲ海外ニ顯シ以テ名聲ヲ得ントスル人若クハ十分ニ資産ヲ造ラントスル人々ハ成

ルヘク彼國ノ語學ニ通セサルベカラス否ヲサレハ其技藝ノ蘊奧ヲ示
 シ或ハ利益ヲ獲得スル能ハス
 然レトモ英語ヲ解スル勞動者ヲ得ルニトハ容易ナラサレハ強壯ナル
 勞動者十人乃至二十人隊ヲ組ミテ彼地ニ渡リ本邦人ニシテ彼地ノ事
 情ニ通シ諸事ニ經驗アルモノ一人ヲ首領ト爲シ總テ其人ノ指揮ニ從
 フテ勤勞セハ益スル所多カルヘシ或ハ斯ル團體中ニ英語ニ熟シタル
 者一人ヲ先導者トナシテ渡行スルモ可ナリ

第二 旅行券

渡行者ハ必ズ旅行券ヲ所持スベシ旅行券ハ東京府下ニテハ區役所ヨ
 リ府廳ヲ經テ外務省ニ出願スレバ五十錢ノ手数料ヲ以テ下付セラル
 ヲナリ又地方ニテハ五港ノ内孰レノ縣廳ト雖モ正規ノ手續ヲ經テ出
 願スレバ下付セラル其他五人十人相提挈シテ渡行セントスルトキハ

強チ五港ノ縣廳ニアラサルモ亦下付セラルベシ

旅行券ハ本邦ノ臣民タルコトヲ表シ海外ニ在テ本人ノ不幸ニ遭遇シ
 タルトキ必要ノ保護ヲ與ヘラレシコトヲ外務大臣ヨリ希望シタル書
 面ヲレバ危難ノ際ニ大ナル用ヲ爲スハ勿論之ヲ取持スレバ支那人ト
 同視セラルコトヲクシテ桑港ニテハ上陸ヲ拒マルコトヲクシテ其他
 新ニ外人ニ雇ハル時ノ如キハ大ニ効用アルモノトス

第三 出稼ノ季節

出稼ノ目的ヲ以テ渡行スルモノハ能ク季節ニ注意セサルヘカラス否
 ラサレハ他ニ雇使セラルコトマテニ不慮ノ失費ヲ要セサルヲ保セス其
 好季節ハ四月頃ヨリ七八月頃迄トス加拿陀ハ殆ソト我邦ト同シク春
 夏ノ間ハ農業及漁業ニ人ヲ要スルコト多ク隨テ製造工場ニ於テモ勞
 働者ノ不足ヲ感シ賃銀ノ昂騰ヲ爲スヲ例トス之ニ反シ冬季ハ寒威強

クシテ事業ヲ爲スニ適セサルカ爲メ勞動者ノ供給ハ需用ニ超過シ賃銀ノ下落ヲ生スルヲ常トス此時ニ當リ始テ渡行シタル本邦人ニシテ他ニ雇使セラレシコトヲ求ムルモ是レ及ハサル希望ナリサレハ袖手傍觀スルノ外ナクシテ徒ニ失費ノ嵩ムヲ免レヌ唯之ノミチヲス春夏ノ間ハ海上平穩ニシテ殊ニ六七月ノ如キハ穩波砥ノ如ク黒潮ノ流下ニ順ヒテ航行スルトキハ涼風膚ニ徹シ宛ラ避暑ニ赴クノ想ヒアリ時ニ鵜房ヲ出テ甲板ニ運動シ四方ヲ眺望スレハ水天ニ碧杳トシテ際涯ヲ胸中ニ横ムル前途ヲ苦心モ頓ニ消散スベク其快ヤ言フヘカヲナルモノアラム

關龍世界大博覽會渡航者心得

歲月ハ流水ノ如ク待設クタル世界博覽會ノ開會モ愈五月ヨリ開設セラレニ至ル各府縣ノ渡航者ハ漸々見物ノ途ニ上ル者多カク吾輩同胞諸士ノ海上恙ナク安着スルヲ祈ルト共ニ彼地滯在中ノ心得ヲ記シ送別ノ囑辭ニ代ント欲ス

吾輩前章ニ於テ始テ米國へ渡行セントスル人ノ手引ヲ述ヘタルハ外國不案内ノ人ニテモ大畧其手續ヲ御承知セラレタルナラシ然シ始テ外國ニ渡航スル者ハ本邦溫和ノ氣候ト非常ノ差違アル外國ニ長途ノ海陸ヲ經テ旅行シ人情風俗ノ異同アル外國ニ寄寓スルコトナレハ出發前ニ心得ベキ事柄少カラザレドモ渡航者ノ年齢及費用ノ如何等ニ於テ其需用ノ異ナルベキヲ以テ一々枚舉スル能ハザレバ出發前曾テ

外國ニ旅行シタル人ニ就キ旅裝其他心得トナルベキ事柄ヲ質サハ大ニ益スル所アルベシ又茲ニ一言スベキハ本邦發程以來シカゴ市ニ到着スルマテ凡ソ三週間内外ヲ要スベシ此間本國ニ於ケル社會ノ出來事實業ノ變動親戚ノ安否郷里ノ近况等ヲ聞知スルノ便ヲ得ルヲ豫メ出發前シカゴ市居住ノ知人等ノ氣付ニテ書翰ヲ本邦ヨリ郵送スルノ約ヲナスヲ最モ可トス又日本事務局ハ會場近傍ニシテ番地ハ4050
5505 Cornell Ave, Chicago. Ill. U. S. A. ナリ

晚香波線ヲ執ルト桑港線ヲ執ルハ各自用向ノ都合ニ仍リ一概ニ其優劣ヲ判スル能ハサルレモ米國見物ニ出掛ル積ヲレハ往クニ加拿陀ヲ經テ復ルニ桑港ヲ過クベシ尙囊中餘有アルモノハ鐵道ニ仍リ墨西哥國ニ立寄り其國ノ富源ヲ觀察スルモ面白カルベシ先ツシカゴ博覽會ノ見物費用ヲ三段ニ區別スレハ左ノ如シ(但往復六週間滞在一夕月ト見

積) 上等 千圓以上 中等 七百圓以上 下等 四百圓以上ナリ

又渡航者ノ止宿スベキ旅館ニ就キ其概略ヲ擧グレバ一日間食物ヲ除キ室ノミ十八弗以下一弗以上ニシテ食物ハ其都度之ヲ拂フモノアリ是等ヲ歐羅巴風ト云フ又食物ト室トヲ込メ一日三弗以上ニシテ止宿セシムルモノアリ是等ヲ亞米利加風ト云フ而シテ右三弗以上ヲ以テスレハ中等以上ノ旅館ニ投宿スルヲ得ベシ該市ハ旅館ノ數ニ富ミ殊ニ博覽會場近傍ニ四五層ノ家屋ニシテ二三百人乃至千人ヲ容ルベキ旅館殆ト三四十箇所建設セリ加フルニ市中到ル處下宿ヲ業トスルモノアリテ同時ニ三十萬人ノ旅客ヲ市中ニ容ルベシト云ヘリ
博覽會場ハ市中繁華ノ場所ヨリ六七哩ノ距離ニ在リテ桑港其他ヨリ來ル汽車ハ市中繁華ノ場所ニ設ケタル停車場ニ到達スルヲ以テ新來ノ旅客ハ先ツ其近傍ノ旅宿ニ一時投宿シ然ル後會場近傍ニ移轉スル

ヲ便トス開場ノ曉ニ至タルハ旅館ハ孰シモ雜踏ヲ極メ從テ宿料昂騰
 スレハ同士互ニ團結シ一室ヲ惜受ク別ニ食事ヲナスニ如カス
 又今頃來觀者ノ便利ヲ計ラン爲メ佐官カツソノ氏ハ該市ニ於テ貸席
 ノ周旋局ヲ設ケ左ノ如ク報告セリ

當局ハ本年夏季中當市中へ來ル可キ四方ノ來集者ニ便利ヲ與ヘン
 爲メシカゴノ市民ハ共同一致シテ便利ト快樂トテ欠カザル貸席及
 ビ旅宿ノ周旋ヲナサンガ爲メ市中最上ノ場所即チノース、アベニウ
 ヨリ七十九町目迄ノ間ニ於テ一万余六千人ノ來容ヲ納ル可キ客室ヲ
 約束スルヲ得タリ即チ左ニ示メスモノハ其ノ出來得ベキ丈クノ最
 低價ヲ示スモノナリ

食料ナシ一日ノ部屋代

○一室ニシテ一人寢ノ寢臺アルモノ一弗三十五錢

○二室ニシテ二人寢ノ寢臺アルモノ一人ニ就キ二弗十二錢二人ニ
 就キ二弗七十五錢

○一室ニシテ二人寢ノ寢臺二個ヲ納レタルモノ即チ四人ニ就キ
 五弗五十錢

以上ハ其概略ヲ示メシタルモノナレドモ市中一般ニ來觀者ヲ好遇
 スルノ人氣ハ決シテ無法ノ高價ヲ貪ラザル可ク既ニ或ル一出版會
 社ノ如キハ一万个ノ貸室數ヲ表ニ作リテ出版シタルガ其價ハ何レ
 モ以上陳ルトコロト大同小異ナリ最モ以上ノ外上等旅宿及ビ會場
 近傍ニ於テ新ラタニ新築シタル旅宿等ハ此限リニ非ズト雖ドモ其
 他ニ於テハ無責任ノ輩詐偽ヲ目的トシテ高價ヲ貪ルモノモ少カラ
 ザルニ付キ大ニ注意ヲ要ス可キナリ尤モ食料ノ事ハ五万人ヨリ十
 万人迄ノ用意ハ毎日會場内ニ於テ辨ズルヲ得ベシ

閣龍世界博覽會ハ大ニ我ガ實業家ノ注意ヲ喚起シ出品ノ數量前古未
 曾有ノ高ニ達シタルハ洵ニ賀スベキノ至リナルガ此出品數量ノ多數
 ナルト同時ニ出品者ノ自ラ渡航セント企ツルモノ多キノ一事亦大ニ
 祝スベシ竊カニ按ズルニ從來ノ外國博覽會ニ出品ヲナセシ者ハ單ニ
 官府ノ勸獎ニ從ヒ金牌銀牌ヲ得テ同業者ニ誇ラント欲スルカ否ラサ
 レバ外國博覽會ヲ一種ノ勸工場同様ニ心得出品物ノ賣却ニテ奇利ヲ
 占メント欲スルカニ外ナラズシテ博覽會ニ就キテハ唯目先姑息ノ利
 ヲ圖ルニ過キサリシカバ出品ハ一切他人ニ之ヲ托シタリト雖モ博覽
 會ノ利用ヲ斯ル狹小ナル目先姑息ノ間ニ限ラハ却テ將來我國ノ外國
 貿易ヲ短縮セシムベシ依テ左ニ一言シ余等ノ希望ヲ述ヘントス

第一 渡航者ハ歐米人ノ嗜好及物品販路ノ模様ヲ觀察スベシ
 米國ハ我カ隣國ニシテ最大花主ナリ將來手ヲ米國ニ延サント欲スル

者ハ勿論今回博覽會ニ出品セシモノハ自ラ渡航シテ出品物ノ陳列ヲ
 始メ裝飾ノ矩合等ニモ心配シ殊ニ開場中ハ日々現場ニ出張シ米國ヲ
 始メトシテ世界各地ヨリ集ル所ノ來觀者ハ如何ナル嗜好ヲ有シテ如
 何ナル物品ヲ愛スルヤ此等ノ嗜好ニ投スルニハ其製造ハ如何ナル點
 ニカテ用ヒ其形狀色彩ハ如何ニスベキヤ等耳聞目擊ノ上ニ研究ヲ凝
 ラスハ勿論廣シ各國ノ出品物ニモ注意ヲ怠ラス其生産我國ニ適スル
 モノハアラザルカ若シ之アリトセバ其生産ノ方法ハ如何ニシテ將來
 何レノ邦國ニ向ツテ輸出スベキヤ等ヲ心掛ケザルベカラス現ニ是迄
 ノ外國博覽會ニ渡航シタルモノ往々ニシテ此觀察ヲ誤リ或ル高品ノ
 賣口宜シキヲ見テ其原因ヲ推究セズ單ニ開場中ノ結果ナリト自得シ
 歸朝早々資ヲ投シテ大仕掛ニ輸出ヲ試ミ又ハ直輸出店ヲ開設シテ大
 失敗ヲ招キタル者少カラザルニ似タリ此等ハ即チ所謂觀察ヲ誤リ博

覽ヲ誤リ博覽會ニ出張シタルカ爲メ大ニ利益ヲ得ント欲シテ却テ大損ヲ招キタルモノナリ

第二 各國ノ實業家ト交際スベシ

抑モ博覽會ニ輻輳スル人種ハ概シテ實業家多シ其ノ實業家ハ取リモ直サス其國ノ代表者ナレハ其人々ト交際シ其人ノ嗜好物品ノ批評ヲ聽ク時ハ一斑其國ノ趨勢ヲ視ヒ知ルヲ得ベシ船中及鐵道旅行中ニ於テハ退屈ノ餘知ラヌ人ト親密ニ交際ヲナシ又旅館俱樂部或ハ酒店等ニ於テ朝夕顔ヲ見合セル中ニハ博覽會ノ品評談ヲ持出シ互ニ意見ヲ吐露スルモ交際ノ階梯タルベシ又其國外交官ノ紹介ヲ求テ彼我物品ノ需用供給ヲ談スルモ良シ孰レニシテモ互ニ智識ノ交換ヲ渴望スル人々ノ集合ナレハ日本テフ觀念ヲ腦裡ニ感染シ居ルモノモ少ナカラザルベシ仍テ公會等ノ席ニハ務メテ出席シ日本ノ名ヲ發揚スルヲ

緊要ナルベシ吾輩カ茲ニ交際ノ必要ヲ記スル所以ハ固ヨリ出品物ノ販路擴張ヲ謀ル手段ハ云フテ俟タサレモ尙將來ニ於ケル一希望則チ互ニ名ヲ知り合得タル緣ヲ以テ直貿易ノ基礎ヲ置クヲナリ海外ニ知己ノ乏シキハ貿易ノ隆勢ヲ謀ル道ニアラザルナリ博覽會ハ實ニ交際ヲ求ムル好機會ナリ將來直接彼我商人ノ氣脈ヲ通スルハ實ニ此機ニ在リ

第三 各地主ナル市街ヲ漫遊スベシ

米國ノ廣キ僅々數月間ニ各地ヲ遍歴スルヲ固ヨリ期スル能ハサレモ博覽會開設中ハ汽車鐵道ハ總テ賃錢ノ割引ヲナシ且町噲ニ旅客ヲ取扱規約モアレバ各地ヲ漫遊スル實ニ好機會ト云フベシ况ヤ近來米國ハ一斑ニ我國物品ノ優美ヲ賞讚シ日ニ甚ノ需用ノ増加ヲ來タス際ナレハ各地ヲ巡廻シ親シク其地ノ商人ニ就キ物品販路ノ模様ヲ觀察シ

直取引ノ手續ヲ協議スルモ良シカルベシ又博覽會場ニ於テ觀察シタル事實ヲ實地ニ比較スルノ便ヲ得テ益々自己ノ推測ヲ堅固ニスルヲ得ベシ其他博覽會見物ヨリ享有スル直接間接ノ利益ヲ一々此一小冊ニ摘載スルヲ得ス故ニ聊カ一言シテ渡航者ノ注意ヲ請フニ外ナラズ

加拿陀富源 終

明治二十六年五月十一日印刷
 明治二十六年五月十四日發行

(定價金八拾五錢)

版權登錄



著作者 農學士 山下敬太郎
東京市牛込區中里町二十七番地

發行者 小柳津要人
東京市日本橋區通三丁目十四番地

印刷者 根岸高光
東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目二十三番地

印刷所 秀英舎工場
東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地(電話十九番)

發行所 丸善商社書店
東京市日本橋區通三丁目十四番地

肆書捌賣

東京神田表神保町
同 新橋竹川町
同 銀座四丁目
京都河原町通二條下
大坂北久寶寺町四丁目
同 備後町四丁目
同 北久太郎町四丁目
同 南久寶寺町四丁目
名古屋京町一丁目
同 本町三丁目
金澤片町
熊本新三丁目

中 西 屋 邦 太
共 益 商 社 支 店
博 聞 社
大 黑 屋 書 店
丸 屋 書 店
梅 原 龜 七 店
柳 原 喜 兵 衛 七 店
前 川 善 兵 衛 七 店
村 松 五 郎 衛 七 店
川 瀨 代 助 館 七 店
益 崎 智 次 郎 館 七 店
長 崎 次 郎 館 七 店

肆書捌賣

長崎引地町
同 酒屋町
佐賀白山町
柳川瀬高町
久留米米屋町
鹿児島六日町通り中町
高知種崎町
同 堺町
廣島横町
岡山上之町
枳江天神町
富山東四十物町

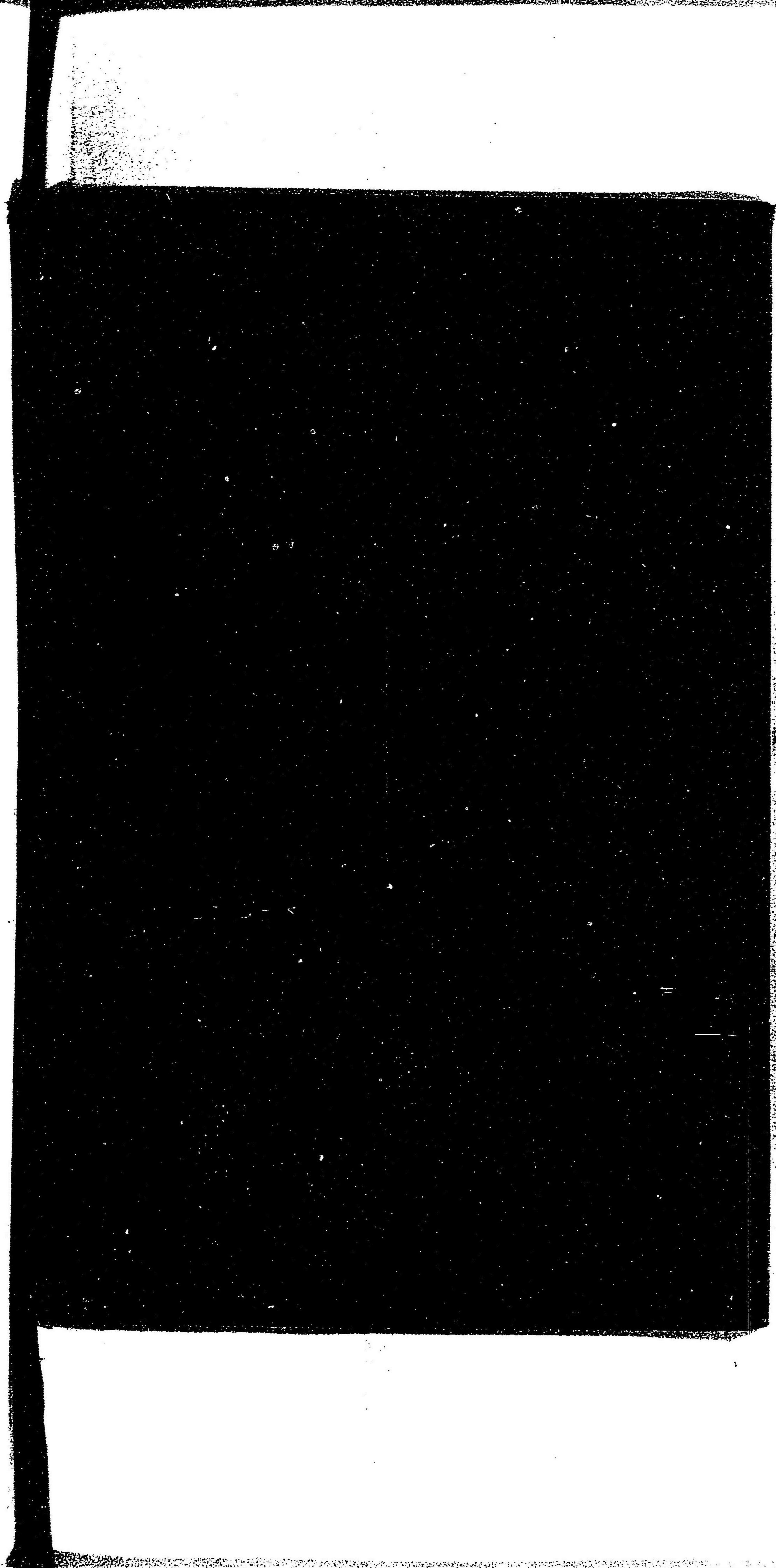
鶴 野 常 造
安 中 半 三 郎
河 內 壯 介 郎
官 本 宗 四 郎
菊 竹 儀 平
吉 田 幸 兵 衛
澤 本 幸 兵 衛
山 中 專 助 吉
松 村 善 助 吉
細 村 謹 善 助 吉
川 岡 清 助 吉
中 田 書 店

肆 書 捌 賣

新潟古町通六番町
津大門町
飯田池田町
静岡江川町
濱松紺屋町
仙臺國分町
山形七日町
函館末廣町
神戸相生橋
松山湊町
青森米町
横濱辨天通四丁目

櫻井産作
河九島右衛門
奥村收藏
廣瀬市藏
谷島屋源三郎
高藤書店
五十嵐太右衛門
魁文社
熊谷久榮堂
土肥與兵衛
成田泰
丸屋書店

| |
|-----|
| 42 |
| 208 |



42

208

Ⓜ

203065-000-2

42-208

加拿陀富源

山下 敬太郎 / 著

M26

EDJ-0005



